

2026 年 7 月 31 日

**リコーグループの実践から生まれた
「Dify 活用可視化ダッシュボード構築サービス」を提供開始
～ AI アプリケーションの利用状況の把握を通じ利用促進からコスト最適化までを支援、
AI の活用定着に貢献 ～**

リコージャパン株式会社(社長執行役員:笠井 徹)は、Dify(ディフィ)の有償ライセンスを利用するお客様に向けた「Dify 活用可視化ダッシュボード構築サービス」を提供開始しました。

Dify は、AI エージェントから複雑な AI ワークフローの構築までを、プログラミングの知識を要さずノーコードで開発できる生成 AI アプリケーション開発プラットフォームです。企業における Dify 活用が拡大し、社員が業務に応じたアプリケーションを開発・活用することで業務効率化が進む一方、IT 管理者にとっては増加するアプリケーションの利用状況や活用実態を十分に把握することが難しいため、利用促進やコスト最適化に向けた管理・運用が課題となっています。

リコーグループには、国内グループ社員約 3 万人が利用可能な Dify 環境が整備され、業務に即した約 10,200^{*1} のアプリケーションを作成し、継続的な業務改善に取り組んでいます。今回提供を開始する新サービスは、こうした社内での Dify 活用状況を可視化するために構築・運用してきた仕組みをもとにしており、実践で培った知見やノウハウを生かして提供するものです。

^{*1} 2026 年 7 月 27 日時点。

「Dify 活用可視化ダッシュボード構築サービス」は、Dify の利用ログデータをもとに、アプリケーションやユーザーごとの利用状況、利用モデル(LLM)のトークン^{*2}消費状況などを可視化するダッシュボードを構築するサービスです。管理者は、「誰が・何を・どれだけ利用しているか」といった利用実態を一元的に把握できるため、Dify 導入後の活用状況の把握や、利用が進んでいる部門・アプリケーションの分析、活用が進んでいない領域に対する改善施策の検討などに役立てることができます。また、利用状況報告にも活用できるため、集計作業を効率化し、運用管理の負荷を軽減します。さらに、トークン消費量や利用傾向を可視化することで、生成 AI 活用の費用対効果の把握や部門別の費用按分の検討など、運用コストの最適化にも活用できます。本サービス提供により、お客様の Dify の利用状況を可視化することで、利用促進やコスト最適化の取り組みを支援し、企業における生成 AI 活用の定着と継続的な業務改革に貢献します。

^{*2} トークンとは、LLM(大規模言語モデル)がテキストを処理する際の単位で、単語や文字、句読点などに相当します。LLM の利用料金は一般的にトークン量に応じて課金されるため、トークン消費量の把握はコスト管理につながります。

リコージャパン株式会社 <https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>

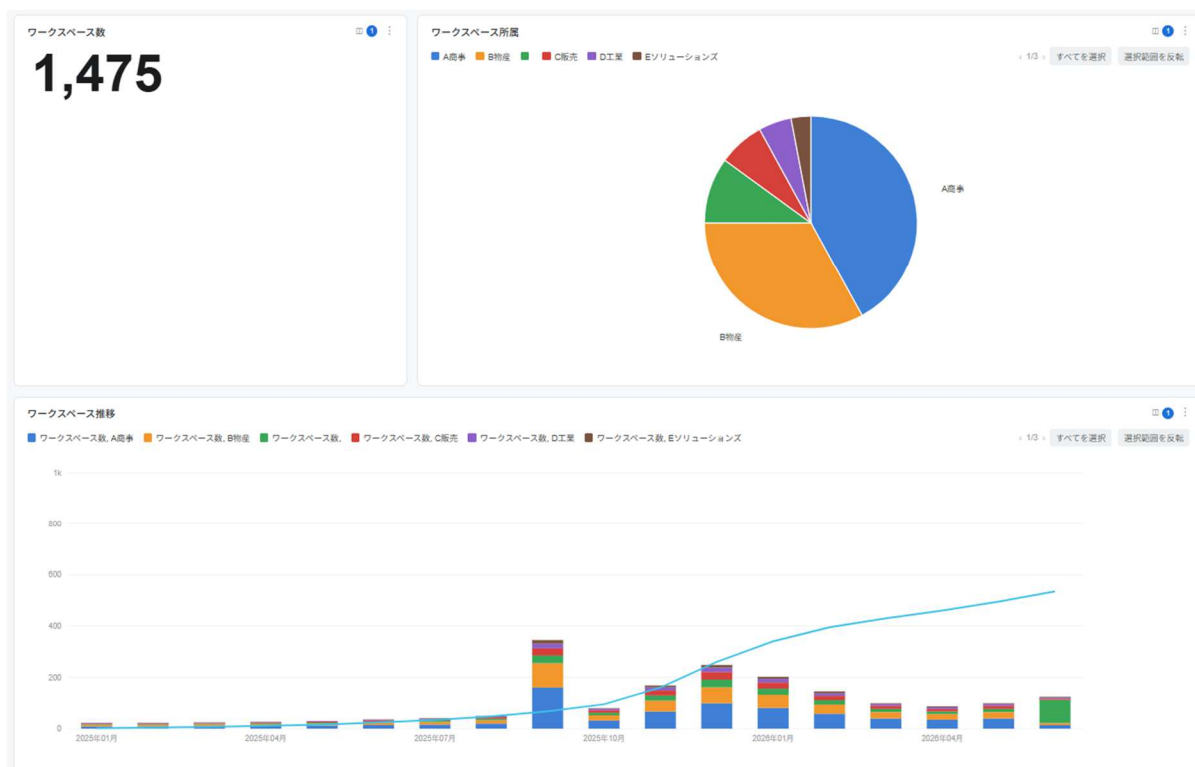
報道関係のお問い合わせ先 リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : zjc_rjccd@jp.ricoh.com

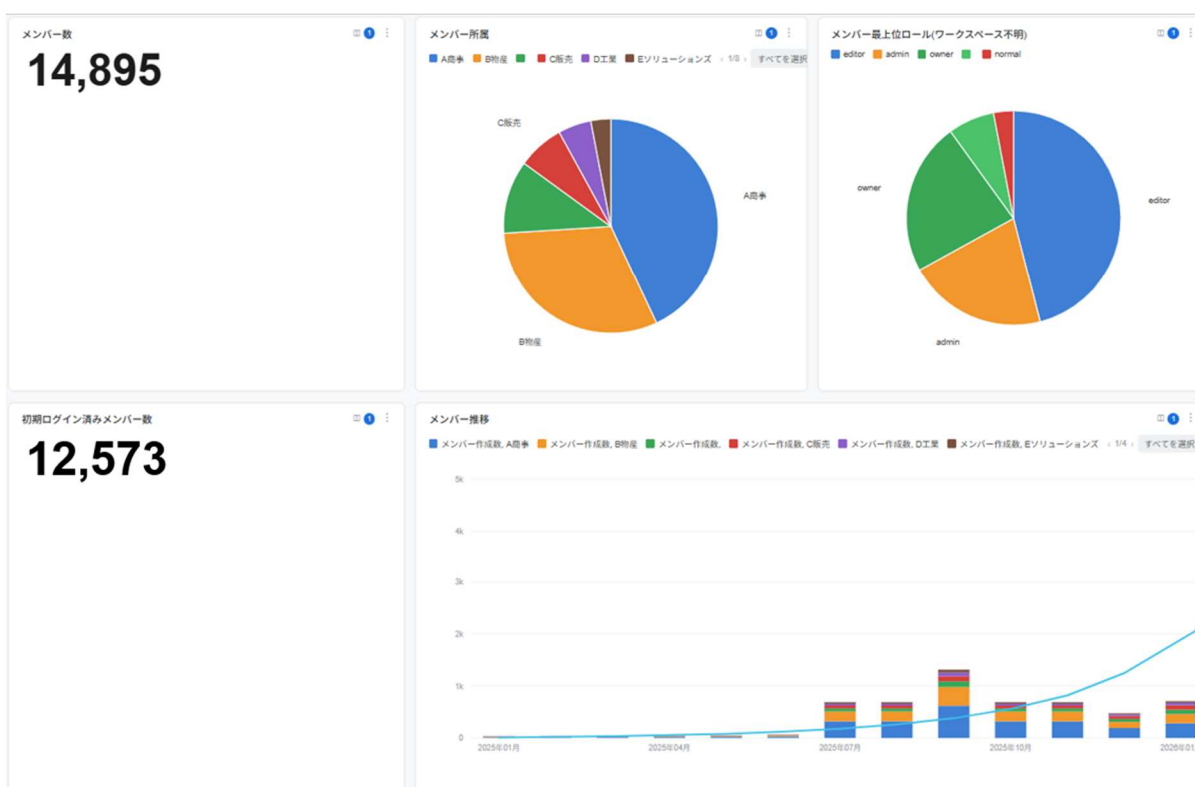
お客様の問い合わせ先

リコーのAIに関するお問い合わせ

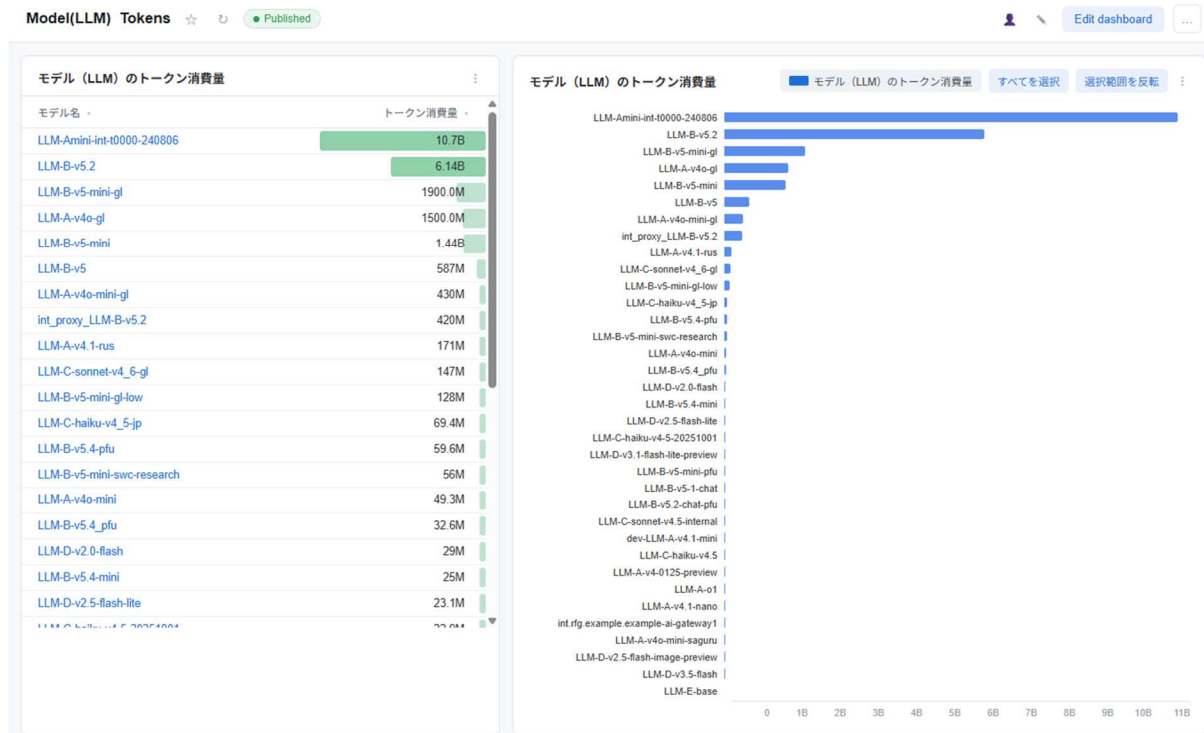
<https://promo.digital.ricoh.com/ai/contact/>



ダッシュボード構築例: 総ワークスペース数、内訳、時系列での推移*3



ダッシュボード構築例: 総メンバー数、内訳、時系列での推移*3



ダッシュボード構築例: 利用モデル(LLM)のトークン消費量、内訳^{*3}

^{*3} 掲載している名称および数値は、サービス内容を説明するために作成した架空のものであり、実在する利用状況を示すものではありません。

リコージャパンはリコーグループの実践活動で培ったノウハウとともに、お客様に寄り添い、業種業務に合わせて利用できる「使える・使いこなせる AI」を提供し、お客様が取り組むオフィス／現場のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援してまいります。

■関連ニュース

リコー、Difyアプリマーケットプレイスの社内運用を開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/0608_1

「Dify Essential/Standard」ライセンスと、Difyアプリケーションの無償テンプレートを提供開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/0601_1

リコージャパン、Dify アカデミック版と教育支援サービスを提供開始

https://jp.ricoh.com/release/2025/0630_1

リコー、生成 AI アプリ開発プラットフォーム「Dify」開発元の LangGenius, Inc.と販売・構築パートナー契約を締結

https://jp.ricoh.com/release/2024/1217_1

リコー、生成 AI アプリ開発プラットフォーム「Dify」を活用した社内実践を開始し、AI の市民開発に向けた取り組みを加速

https://jp.ricoh.com/release/2024/1128_1

■関連情報

Dify

<https://www.ricoh.co.jp/products/list/dify>

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>